

## 島根の逆襲

出川卓十出川通著

森鷗外おづがいの故郷・津和野が島根県だというのをご存じでしたか。私は数年前まで山口県だと思っていました。事程左様に忘れられ、陰気で暗いと思われがちな島根がいかにもばらしい歴史と可能性を秘めた世界であるかを、出雲市に生まれエンジニアとして世界を股にかけてた兄弟が、愛おしみをこめて語った一冊です。

取り上げるのは、出雲・石見・隠岐という三つの国からなる島根県の歴史と神話について、日本はもちろん世界をも動かした鉄・銀・銅などの金属資源について、高齢化と長寿命化の最先端である島根県が潜ませる未来への可能性について。この三点を中心に語られているのですが、読んでみると、なるほどその通り

だ、島根はすごい技術を持っており、大きな可能性を秘めていると思わせます。

昔、日本海沿岸にはヤマトをしのぐ文化がありました。それが日本列島を統一した律令国家によって山陰道の一国に位置づけられ、陰気な世界に貶められたのです。今や人口は71万人で下から2番め。最下位に甘んじる鳥取県とともに、「がんばれ島根、がんばれ山陰」でいきましよう。(言視舎、1500円)